



2007年
2月号

マックスールプレス

目次

- p1. 褥瘡予防 栄養編
- p2. 診療科案内 外科
病気アラカルト 直腸癌について!

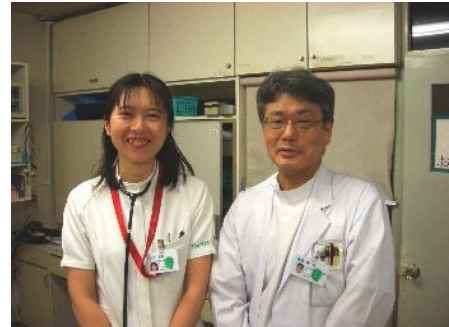


《 病院 中央カウンター 》



《 老健 受付 》

褥瘡(床ずれ) 予防について!



【 褥瘡委員 中川副師長・蓑原副院長 】

褥瘡予防 栄養編

褥瘡(いわゆる床ずれ)の予防について、今回は栄養について述べます。褥瘡は、局所の圧迫・摩擦・ずれや過度の湿潤(濡れた状態)などによって皮膚が損傷されてできます。もう一つ重要な点は、栄養が不十分だとできやすくなり、治りも悪くなることです。

栄養素の中ではタンパク質が大切であり、また、亜鉛も重要な微量元素です。血中のタンパク質の濃度(特にアルブミン)は褥瘡の発生を予測する指標として使われます。アルブミン値の低下は、筋肉量や皮膚組織の耐久性・水分保持力などの低下につながり、褥瘡が発生しやすくなります。褥瘡を予防するには、食事からタンパク質を積極的にとる必要があります。

次に、亜鉛はタンパク合成酵素などの各種酵素に含まれており、タンパク質が主成分の皮膚の損傷である褥瘡の予防に大きな役割を果たしています。亜鉛不足は、皮膚炎などの他に味覚障害も来すので、食欲減退にもつながります。亜鉛を多く含む食材としては、牡蠣・チーズ・納豆・煮干し・干しエビ・干し椎茸・わかめ・ココア・抹茶などがあります。一つの食材からとるのでなく、

いろいろなものを食べて亜鉛もとるのがいいと思います。その他にも、鉄、銅、カルシウム、ビタミンなど褥瘡予防に必要な栄養素はたくさんあります。

通常の食事をしていれば問題ありませんが、寝たきりの状態やそれに近い状態では十分な栄養をとることも難しいことが多く、各種栄養補助食品が有用なこともあります。在宅介護をされておられる皆様で、栄養補助食品の詳しい情報や栄養指導を希望される方がおられましたら、お気軽に病院スタッフに声をかけてください。

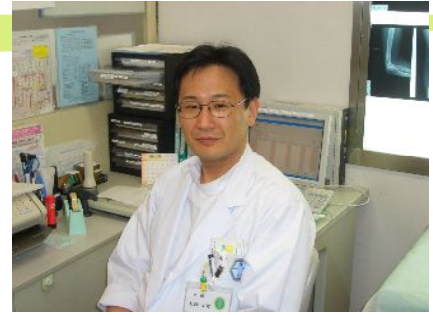


【 栄養補助食品 】

診療科案内

外科

外科部長 打越 史洋



平成 19 年 1 月よりここマックシール異病院に2人の外科医が着任し、本格的に外科手術を再開いたしました。

うちこしふみひろ

ひらいわみえ

部長に大阪警察病院外科から打越史洋医師が赴任し、平岩味恵医師との2人体制となりました。外科一般の診療を行っており、手術日は月曜と金曜の午後です。

打越医師は消化器外科、とくに大腸疾患（結腸癌、直腸癌および炎症性腸疾患、肛門疾患）の手術治療、腹腔鏡下手術を専門分野としています。また、平岩医師は特に乳腺疾患の診断・治療に力を入れています。患者様それぞれの状態に合わせて、最新・最良の治療法が選択されるように日々努力しています。

病気アラカルト

直腸癌について！ 外科部長 打越 史洋先生

近年我が国においても大腸癌患者数は増加の傾向にあり、なかでも直腸癌の比率が高まっています。症状としては血便（便に血液が付着する）、粘血便（さらに粘液も付着する）、便柱が細くなる、下痢・便秘を繰り返すなどが特徴的ですが、これらの症状がある場合には腫瘍は比較的大きくなっている可能性があります。また普段から痔があつて、時々排便痔に出血があるといったような場合は、その奥に直腸癌が潜んでいる場合もあるので年に1回は大腸内視鏡検査等を受けられることをお勧めします。

直腸癌治療は外科手術が基本ですが、場合によっては術前に放射線療法や抗癌剤治療を行うこともあります。直腸癌の手術と聞いて、皆さんまず心配されるのが「人工肛門になるのではないか？」という点だと思います。ここ数年、手術手技・手術器械が進歩し、肛門縁から腫瘍までが4-5cm程度であれば進行癌でもまず人工肛門になることはありません。さほど進行していない癌腫であれば、さらに肛門に近くても肛門機能を温存する術式も開発されてきており、当院でも施行可能です。また、直腸癌に対しても腹腔鏡下手術を安全に行うことが可能で、小さな創で体に負担の少ない手術を受けていただけます。